

第14回 1/8ボックスチュアル(ボックス)の巻



「ファイブスター物語(以下FSSと略記)」原作からモーターヘッド(以下MHと略記)の存在が「無かったこと」になっておおよそ3ヶ月。この方は失業でしょうか、看護婦さん(今日では法律上このように呼称しないのですがあえてこの表現を使用)にトラバークでしょうか？心配で心休まらぬ昨今です(核爆)

念の為に断っておくと、この方は看護婦さん(あえてry)ではありません。MH(主に人型をしている、FSS世界の最強兵器)の開発を担当するファティマ(有機的人造人間・人型コンピュータのようなもの)です。額に見えるのはナースキャップ・・・ではなく、MHを制御するクリスタルなのですが、この方は5台のMHを同時制御する高い能力を持つということでクリスタルもこのような形状となっています(でも小さいクリスタル5個付けた画稿も存在...謎だ)。開発専門で実戦には出ないことになっているのですが、「もしもの時」に備えて戦場に詰めていることもままあるという設定で、登場回数の割に優遇されています。後にMH制御の能力を上げる為に感情中枢が取り払われていることが判明したときには涙を禁じえませんでした。



キットデータ

メーカー	ボックス
スケール	1/8
材質	レジンキャスト
当時価格	3000円(税抜)

メーカーによる立体としては今回紹介するボックス製レジンキットの他、同じくボックス製1/35レッドミラージュにも付属していました。このボックス製キットは初期に発表された立ち姿の画稿を元に、穏やかで優しい表情で立体化されています。

隣はハリボテのレッドミラージュ製作時にスクラッチしたもので、ハリボテに合わせた為1/9という中途半端な縮尺となっています。コクピットハッチ等に座らせることを想定して座りポーズにしたのですが、結局一緒に撮影することはありませんでした(無念)。1990年代に発表された両腕を広げて歩いている画稿を縮小コピーして可動骨格を一旦作り、それをポーズ固定にするというまどろっこしい作り方をしています。5台のMHを同時制御するクリスタルは透明樹脂(!!)製。当時は気合入ってました。前髪が分割構造となっているのはセパレートタイプのクリスタルも作ろうと思っていたんでしょうか、でもやっぱり看護婦さん(あえてry)スタイルの方が良いです。再登場の際は是非ともこのスタイルでお願いします。